みどりの 21世紀 地球を、地域を、生活を、 持続可能な豊かさに レク

特集:

「協働」の力で持続可能な 社会をつくる

報告:近畿ブロック「環境 NGO と市民の集い」



環境市民が企画監修

阪急電鉄「エコトレイン 未来のゆめ・まち号」 **12月1日から走ります!**(詳しくは11百へ)

本格手折り このニュースレターはボランティアの手で折られ発送しています。

¥200

環境市民

Citizens Environmental Foundation - since 1992 -

http://www.kankyoshimin.org

収益の一部は環境市民の活動資金として 使わせていただきます。なお、会員には 毎月無料配布しています。

みどりの ニュースレター

No.186 2008年11月号

index

コレため!

葉っぱでオリジナル絵はがきをつくろう! ...02

特集:「協働」の力で持続可能な社会をつくる 報告:近畿ブロック「環境 NGO と市民の集い」

...03-07

行事案内

...08-09

子どもたちに残したい理想のまち

奈良県生駒市・環境基本計画策定の様子 no.4 …10

とれたて! 環境市民

阪急電鉄の「エコトレイン 未来のゆめ・まち号」に、 環境市民が企画監修で協働 …11

地球のなかま

第31回 琵琶湖固有種1回目 ビワマス …12

青き星 碧い風

第21回 世界で一番好きな山の道 …13

読者交流コーナー みどりのかわらばん

...14

1/環境市民

情報技術をいかして環境市民のウェブサイトづくりに参加 大熊 秀治さん

...15

次号 みどりの No.187 予告 ニュースレター 2008年12月月



特集:(仮)

企業の不祥事が続く昨今。就職先企業選びは、ブランドイメージや 年収だけではなく、CSR(企業の社会的責任)の視点も大事です。 学生が CSR の視点で企業を選べば、企業を変えることにもつなが ります。環境市民から、学生へ、企業へ新しい就活を提案します。

自然と遊ぼう

ラレため! ^{選外編}

コレ、ためして みました。

番外編 File 2

葉っぱでオリジナル 絵はがきをつくろう!



若者からシニア世代まで、幅広い層に人気の里山歩き。秋の澄んだ空気の中、落ち葉をふわっふわっと踏みながらの里山歩きは、とても心地がよいものです。ただ歩くだ

けでもわくわくしますが、自分なりのテーマを決めて歩くと、少し違った楽しみを味わえます。例えば「葉っぱの形」というテーマでの里山歩き。気になる葉っぱを集めて並べてみると、丸いもの、細長いもの、ギザギザがあるもの、先が分かれているもの……と、その形はさまざま。たったこれだけのことでも、新しい発見に満ち満ちています。

里山歩きに出られなくても、近くの神社を彩る紅葉や、自宅 の庭に咲く草花に、秋を感じる方は多いと思います。家の近所 の道だって、里山と同じように視点を変えて歩いてみれば、い つもとは違った景色に出会えますよ。

さて、そんな異なる世界を発見したら、その感動を誰かに伝えたくなりませんか? ここからは、ステンシルの手法を使った 絵はがきの作り方をご紹介します。

用意するのは、形のきれいな葉っぱ数枚、はがき、のり、乾いたスポンジ、割り箸、輪ゴム、好きな色の絵の具です。①割り箸の先に小さく切ったスポンジを挟み、輪ゴムで固定します。②のりで葉っぱをはがきに貼付けます。のりが乾いて、貼ってもはがせる状態になってから貼付けてください。③絵の具でお好みの色を作ったら、①のスポンジを使って、葉っぱと紙の境目に色を付けます。絵の具の水分は少なく、色を付けるときは境目を濃く、上からたたくように付けるとよいでしょう。④葉っぱをはがし、絵はがきの完成です。

写真はカエデの葉で作っている様子。葉っぱを選ぶときには、できるだけ平らで、ギザギザや切れ込みのあるものにすると、仕上がりもきれいになりますよ。素敵な絵はがきで、秋の便りを送ってみてください。

(文/写真 自然遊びプロジェクトチーム 立藤 慶子)

特集:

「協働」の力で持続可能な社会をつくる

報告:近畿ブロック「環境 NGO と市民の集い」

10月11日、大阪 YMCA(大阪市内)にて近畿ブロック「環境 NGO と市民の集い」が行われ、その第1部として「シンポジウム "流れ"を変える!『協働』の力で持続可能な社会へ」が行われた。

(主催:独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金 / 企画・運営: 特定非営利活動法人 環境市民 / 協同運営: きんき環境館、特定非営 利活動法人 大阪府民環境会議)

はじめに、コーディネーターの杦本育生(本会代表理事)から、「環境問題は深刻化し、経済は世界的に低迷している。国内では格差問題、年金問題とさまざまな社会問題が行き詰まり感をみせている。今こそ、対処療法ではなく、根本的な解決が必要であり、そのためにはパートナーシップ(協働)が解決手段になるのではないか」という提起がなされ、各パネラーから事例紹介やパートナーシップをすすめる上での課題や解決方法について議論が展開された。今回の特集では、シンポジウムでの各パネラーの主張をもとに、持続可能な社会をつくるための手段としてのパートナーシップの課題や可能性について考える。







" キーワードはつながり、つづける、育てる "

白井 文 さん 尼崎市 市長

尼崎市ではごみ減量リサイクルの推進を行うため、平成12年に市民、事業者、行政が協働し、あまがさきごみ減量作戦推進会議(AGG)を発足しました。ごみ減量やリサイクルのルールやマニュアルをつくり、事業系の古紙からトイレットペーパーをつくるしくみづくりを行いました。またAGGの呼びかけによりNPOあまがさきエコクラブが発足

し、事業系の古紙回収を行いトイレットペーパーを つくっています。トイレットペーパーの販売や環境 保全に関する啓蒙活動なども行っています。今年 10月の4日と5日に行われた市民まつりではエコス テーションを設け、ごみを8種類に分別しました。 ごみの減量という点では、前年の半量以下まで減量 を達成できました。今回の市民まつりの実行委員も 市民からの公募で、行政主導の事業から市民主導に移行しつつあります。

またあまがさき環境塾では「環境を知る人から行動する人へ」をテーマに環境保全活動のリーダーを養成するセミナーを開催しています。この活動は17年続いており、この塾の卒業生同士が連携し行動を起こし、卒業生が次の塾生を育てるという流れもおきています。市民が市民を育て「つながり」を大切にする、これは環境塾を17年間続けた「継続」の成果でもあると思います。

尼崎市には産業都市であるという側面もあります。パナソニックPDP(株)では敷地内で水を浄化し排出しています。企業が行っている環境事業を報告し情報交換することはもちろんのこと、情報を活発にやり取りすることで企業同士が環境事業を意識し真似をするということもおきています。また、行政が団体や企業における環境に関する活動を機会あるごとに紹介し、「活動の見える化」を図ること

も大切であると考えています。

行政の役割としては、NPOの活動を支援していくことがあげられます。NPOも多少なりとも収益を得る事業を展開し「自立」した団体として活動していく必要があります。せっかく活動をしていても事務所を設けていなかったりして、連絡がつかないことがあります。補助金頼りにならず、自分たちの活動の趣旨にあった事業を展開していく必要性があります。直接的な支援ではないが、自治体のOBには書類作成能力などに長けている人が多くいます。そういった人材をNPOの運営に活かすことも考えられると思います。

今後、尼崎市では市民恊働提案制度を設け、より多くの市民の方と意見交換をし、実際に事業を行う制度を実施する予定でいます。NPOの特性を活かし、また行政の立場から支援していきたいと考えています。



"社会的責任を果たすために協働する"

関 正雄 さん 株式会社損害保険ジャパン 理事 CSR・環境推進室長

もともと「持続可能な発展」という言葉は、国の政策指針として言われたものです。私自身、92年頃最初に聞いたときは「変な言葉だな」と思いましたが、昨今はみんなが当たり前のように使い、すっかり抵抗がない言葉になりました。また、国だけではなく今や企業もそして個人も、そのために何ができるかを考える時代になってきています。

そんな時代に、新しい協働の枠組みで世の中を変えていこうとする試みのひとつが社会的責任の国際規格ISO26000^{注 (a)}です。この規格は2010年9月の発行をめざして現在策定中で、先ごろの国際会議で作業部会の草案が大筋合意にいたりました。持続可能な社会に向けて、環境や人権など社会的責任に関する行動基準を世界の全ての組織に

浸透させようという、大変高い理想を掲げた規格 といえると思います。

規格のなかで重要な概念になるのが「ステークホルダー・エンゲージメント^{注 (b)}」です。これは対話を通じた信頼構築・協働をめざすものであり、CSR(企業の社会的責任)の取り組みにおいて欠かすことができないものであると考えています。私自身、このISOの作業部会に今まで3年間関わってきて、多様な立場・意見のエキスパートと対話することがいかに大切かを痛感しましたが、そうした困難を対話を通じて克服して到達した合意には格別の重みがあります。この規格策定プロセス自体が、貴重なステークホルダー・エンゲージメントの機会だという気がします。

損保ジャパンも「市民のための環境公開講座」の共同主催や、環境NPOとともに学生を育てる「CSOラーニング制度」など、特に環境人材の育成面でNPOとの協働を長く続けてきました。また、社内CSR推進においても、NPOに力を借りながら社員教育に力を入れています。協働を支えるのは人。だから今後の協働の発展の

ために期待するのは、人材交流です。当社でも 実例がありますが、企業人、特に経営層に近い 人がNPO活動に関わりを持ち、NPOとの間で人 材交流が生まれれば、企業もNPOも変わってい くのではないかと思います。セクター間の人材 交流が日本ではまだ少ないですが、今後進めば 面白いと思います。

注釈)

- a. 組織の社会的責任規格。 組織が社会的責任を果たすために、「組織統治、人権、労働慣行、環境、公正な事業慣行、消費者課題、コミュニティ参画及び発展」という 7 つの課題に取り組むためのガイダンス文書として、ISO(国際標準化機構)において策定作業が進んでいる。多様な意見を反映させるために、世界中からさまざまなセクターの専門委員が参加するマルチステークホルダー対話の手法を導入したのが大きな特徴。 (※出典:損保ジャパン CSR コミュニケーションレポート 2008)
- b. CSR 推進の過程で、対話を通じてさまざまなステークホルダーを理解することや、成果達成のためにステークホルダーと積極的に関わり合い、「信頼関係」や「協働関係」を築くプロセスのこと。



" 立場の違いは当然。 その上で、いろんな主体に関わる人を増やしたい"

早瀬 昇 さん 大阪ボランティア協会 専務理事

昔は環境問題などの社会問題は役所がやることだと言われていました。でも実際は、環境問題を初め、問題を解決するためにNPOやNGO、企業といったいろんな主体があります。

協働という言葉が出てきてから創造的な協調関係が強調されるようになった気がしますが、その関係に収斂してしまうことの危険性もあるのではないでしょうか。逆に、創造的な反対運動、批判の交換というおもしるい協働もあると思います。

30年以上も前、学生時代に「誰でも乗れる地下 鉄をつくる会」に参加していました。最初は交通 局と全く意見が合わず話になりませんでしたが、 運動を進めるうちにだんだんお互いがわかってき て、妥協が図られるようになりました。マザー・ テレサの言葉で「愛情の反対は憎悪ではない。無 関心である」というのがあります。無関心な人は 賛成派と反対派の間にいると思いがちですが、それは大間違いです。無関心な人は賛成派からも反対派からも遠いところにいます。関心層という意味では賛成派と反対派は仲間。阪神ファンと巨人ファンはサッカーファンに比べると同じ野球ファン、仲間なんです。そういう感覚を持っていることが協働の一つのポイントでもあります。

主体ごとの立場の違いを基本におかないと協働は効果を発揮できません。企業の市民活動を応援しようということで15年ほど前、企業市民活動推進センターを作りましたが、企業のイメージアップに貢献するようなことをなぜ大阪ボランティア協会がするのかと批判を受けました。企業の行動の背景には、結局はお金儲けやブランドカ向上の意図もあります。それを非営利活動と同じ視点で評価するのは適切ではありません。なぜなら、動

機が不純という見方をすると、パートナーシップが組めなくなるからです。企業と組む時は、企業市民活動が生み出す社会的な効果を見る必要があります。

今はNPOの世界、企業の世界、行政の世界と分裂していますが、僕らは人間としているんな立場を持っています。消費者であり労働者であり、納税者であり場合によっては行政で働き、NPO活動

をしている人もいるでしょう。なのに、連携がなかなか難しいのは、主体によって悩みが違うし、お互い不信感があるからです。同じ市民活動でありながら自治会活動と距離をおく人もいますが、この解決には、自治会の活動の面白さを知っている人がNPOの活動をしたり、その逆も……といった、いろんな主体に関わる人を増やしていく必要があると思います。



"多様な人々との意見交換から 新しい行政の役割を見出す"

山田 朝夫 さん 愛知県安城市 副市長室長

行政・企業・市民(NPO)、立場の違ったセクター同士が連携して一つのことを成し遂げていくパートナーシップ事業。言葉も仕事の仕方も組織の仕組みもまったく違う、多様な社会の人々が力を合わせることはそれぞれに「新しい学び」を生み出します。

たとえば、平成20年6月に安城市でレジ袋の有料化が実施された事例は、一年半という長期間、行政と事業者(スーパーや小売店)と市民が協議をしてさまざまな意見を交換しあって成し遂げられたものです。

レジ袋の有料化は事業者だけで進められるものではありません。事業者は、レジ袋無料配布の中止はコストが減ってメリットがあるということがわかっていても、行動を起こすことで消費者の反感をかうのではないかという気がかりがあるのです。しかも、一つの事業者だけで有料化を進めると、その事業者から他の事業者へ消費者が移り、先進的な活動をしているのにも関わらず、損をしてしまう可能性を懸念します。そうした不安要素があるため、事業者は自らレジ袋有料化を言い出せません。しかし、これらの問題を回避するために行政・市民の力が役に立ちます。行政が、環境意識の高い市民とともに、レジ袋有料化の必要性を呼びかけることで、一般市民の事業者への反感は少なくなります。また、行政が地域の事業者に広く参加を呼びかけること

で、事業者間の足並みがそろい、一つの事業者だけ が損をする心配がなくなるのです。

安城市のレジ袋削減推進協議では、環境意識の高い市民だけでなく、普通の市民にも参加を呼びかけました。PTAや子ども会の普通のお母さん達。彼女たちは、レジ袋を生ごみを入れる袋などとして使っているため、レジ袋有料化には反対の立場をとっていました。しかし、協議会の席上でさまざまな意見を聞くうちに「パンの袋や新聞紙でも代用できるから有料化になってもいい」と立場が変わっていきました。こうした甲斐あって、安城市ではスムーズにレジ袋有料化が実現されました。

このように多様な人々が集まり話し合いを持つことには、一つのセクターの人々だけでは気づけなかったことやお互いが知らなかった情報に接することができるというメリットがあります。お互いの世界を知ることで新しい視点や可能性が生まれてきます。

また、レジ袋有料化の協議で知り得たことは、行政にできることはお金(助成)を出すことだけではないということ。市民と事業者をつなげて、意見の隔たりを少なくする役割や流れの「旗振り役」を果たすことも行政には可能なのです。この経験をもとに現在は市内の多くの事業者をめぐり、情報交換と信頼関係の構築を図りながら、新しいパートナーシップ事業の可能性を探っています。



" 持続可能な社会を創るには、 気づき、チェンジすること。"

松吉 徹也 さん

パナソニック株式会社 社会文化グループフィランソロピー・メセナチーム主事

パナソニックでは、学校へ企業の視点から教育を 提供する「出前授業」、全社員が市民活動に携わる 社員参画型の取り組みなど、さまざまな社会貢献事業に取り組んでいます。その一方で、一般的に「会 社員としての本業は株主に利益を還元することであり、社会貢献は行政やNPOがやってくれている。 社員は本業をやることが社会貢献ではないか」という意見が一部にあるのも事実です。しかし、たとえば、教育の問題が教育の現場だけで解決できるかというと、そうではありません。それに関わる企業、家庭、地域など、みんなが課題の解決に向かって動く必要があります。昨今、企業市民という言葉が言われていますが、企業は社会における一市民であり、市民が社会の抱える問題に取り組むのは当然だと思うのです。

持続可能な社会を築くには、まず、それをめざす各セクターや団体が持続可能であることが重要です。「活動を継続できないのは、責任を果たせていないということ」という意識が必要です。これまでのやり方では、到底持続可能な社会を築くことはできません。やり方を変える必要があります。キーワードは「チェンジ」です。では、何をどのように変えればよいのでしょうか。個人が自らの気づきだけで自己変革することが難しいように、組織も自分たちの力だけで変わっていくのは難しいのが現実で

す。そこで、異なるセクターが協働によって多様な 意見を交わしていくことが重要になるのです。する と、どうチェンジすればよいかが見えてきます。協 働することで、自分たちだけではわからなかった チェンジの方向性が見えてくるのです。このつなが りが最終的に持続可能な社会へとつながっていくと 思っています。

「チェンジ」を起こすには、「気づき」が必要です。問題の重要性に気づかず、「このままでよい」と思っている限りチェンジすることはできません。個人にしても組織にしても行動に踏み出せないのは、その第一歩に大きなハードルがあり、それを越えるにはものすごく大きな力が必要だからです。「気づき」こそがそれを乗り越える力であり、第一歩を踏み出すための原動力になります。そのため、「気づき」をどう起こすのかが今、求められており、行政や企業、NPOが「気づき」の機会をどう与えていくかが重要です。

環境や社会貢献の分野では今はまだ熱い人だけが動いていますが、それだけでは続きません。社会的なスキームにする必要があります。そのために、NPO、行政、企業それぞれにできることがあります。今後も協働しさまざまな意見を交わしながら、活動を進めていきたいと思っています。

おわりに……

シンポジウムでは、継続すること、情報交換、人材育成の大切さなど、パートナーシップを進める上でキーワードとなる言葉がいくつもだされた。NPOの脆弱性、コーディネーター不足など問題も指摘された。解決方法としては、千葉県市川市の市民協働事業提案制度、企業の人材育成講座があり、今後の可能性としてセクター間での人事交流、行政 OB の活用、企業経営者のボランティア参加の促進など事例やユニークなアイデアが出された。コー

ディネーターの杦本は、「パートナーシップでは、 立場の違うセクター同士が組むことによって互いの 能力を高め、関係性を深めることができる。これこ そが、持続可能な社会に近づく力になるのではない か。今回の議論を、今後、パートナーシップを広げ、 深めていくことにつなげていきたい」としめくくっ た。このシンポジウムが、各セクターでパートナー シップをすすめる人たちの力となり、新たな展開を 生み出すことを期待したい。

……特集担当:田麦 誠、土屋 瑠里子、内藤 一樹、松本 裕樹、安江 晃子、有川 真理子 写真:千葉 有紀子



環境市民

TEL) 075-211-3521 FAX) 075-211-3531

IP電話) 050-3581-7492 E-mail) life@kankvoshimin.org http://www.kankyoshimin.org/

куото

■野外イベント運営スキルアップ講座

自然の変化が楽しめる「紅葉の季節」がやってきました。 野外講座を運営するスタッフの役割について、京都の自然 を体験しながら一緒に学びませんか? 自然の中で遊びた い、学びたい方におすすめの講座です。

参加費: 各回1.000円(学生、会員500円) 定員:各回30人(定員になり次第締切)

申込み: 必要

企 画: 自然遊びプロジェクトチーム

■第1回 参加者が楽しめる雰囲気づくり

-当日受付からアイスブレイクまで~

イベント当日の円滑な受付と的確なオリエンテーション、 参加者の緊張をほぐすアイスブレイク。参加者といっしょ に楽しめるイベント運営の基本を学びましょう。

と き: 11月2日(日)午前10:00から午後4:00

ところ : 京都御苑 ゲスト : 西村 仁志さん

(環境共育事務所カラーズ代表)

■第2回 安全で楽しいイベント運営

- 危険回避と緊急対応

安全を確保し危険を回避するためにはどのような配慮と 準備が必要でしょう?環境市民が京都西山に借りている里 山まで出かけ、体験しながら学びます。楽しいアクティビ ティも用意しています。

と き: 11月30日(日)午前10:00から午後4:00

ところ : 京都西山・環境市民こもれび小屋

ゲスト : 余部 衛さん

(兵庫県立やしるの森公園スタッフ)

■第3回 満足をうみだすディレクション

-事前準備からふりかえりまで

参加者、講師、運営スタッフ、イベントに参加してくれ たすべての人の満足を高めるため、準備作業からふりかえ り、評価まで、野外イベントの運営スタッフとして必要な スキルの修得をめざします。

と き: 12月14日(日)午前10:00から午後4:00

ところ : 京都市北文化会館

●「就活にCSR」セミナー

CSR という観点での企業と学生の出会いの場をつくり、 CSR という新しい視点を提案し、これまでにない新しい側 面からの就職活動を応援する。大学1、2回生歓迎。

と き: 12月7日(日)午前10:00から午後4:30

ところ : 京大会館 210号室

京都市左京区吉田河原町15-9

交 通: 京阪電車「丸太町駅」5番出口から、川端通を 北へ約400m教会を右へ200m(下車から徒歩

約10分)

京都駅より市バスD2のりば 206系統

「京大正門前」下車

プログラム:

■午前の部 CSRセミナー (午前10:00から午後12:00)

『CSRを学び、企業を選ぶものさしを増やそう』

●CSRレクチャー

環境・CSR報告書がよりよいものになるには、私たち 市民(学生)の「読みとく力」も必要です。環境・CSR 報告書を、どのような視点で読めばいいか、簡単に紹介 します。

午後の部

参加各企業 環境・CSR担当者からのプレゼンテーション (午後1:00から午後4:30)

『各企業の未来への約束を知り、自分の未来と 見比べよう』

●プレゼンテーション第1部 午後1:10から午後2:10

イオン株式会社/イズミヤ株式会社/株式会社平和堂

●プレゼンテーション第2部 午後2:20から午後3:20 参加企業:

株式会社島津製作所/株式会社村田製作所 株式会社堀場製作所

参加費: 無料

服 装: 特に制限はしません 申込み: 必要 締切:12月1日(月)

備 考: 大学1、2回生歓迎

企 画:「就活にCSR」プロジェクト

●わいわい ウキウキ 1Dayボランティアデー

月に一度の「みどりのニュースレター」発送日。エコな話題をわいわいおしゃべりしながら、ニュースレター発送作業をします。水力発電ダムが100か所以上存在する、ウルグアイのラプラタ川。11月27日は、現地にインターンに行った方から、流域の水資源管理を通して考える環境問題について紹介していただきます。

と き:11月26日(水)午後5:30~8:00頃まで

11月27日(木)午後2:00~7:00頃まで

ところ : 環境市民 京都事務局

備 考: 予定時間を過ぎて来られる場合は予めご一報くだ

さい。講演ではありませんので、作業をしながら 話をきいたり話したりする状況になることをご了

承ください。

次回発送日… 12月22日 (月) 午後5:30~8:00頃まで

12月25日 (木) 午後2:00~7:00頃まで

環境市民 東海事務所 TEL·FAX) 052-521-0095 IP電話) 050-3604-6182 E-mail) tokai@kankyoshimin.org

http://www.kankyoshimin.org/tokai

ΤΟΚΑΙ

●環境市民研究員養成講座 オータムセミナー2008

「環境と観光」をテーマにすすめている養成講座ですが、 今回はプログラムのファシリテートや、企業・行政などと の協働事業のコーディネートについて学びます。

と き: 11月29日(土)午前9:00から午後5:00

ところ: 東海事務所(名古屋市西区)

定 員: 10人 参加費: 1,000円 申込み: 必要

申込方法:東海事務所へ電話、またはメールでお申し込み

ください。(先着順 環境市民会員を優先します)

聞社)が必要な方は別途2.000円が必要になり

備 考: 参考文献「東海エリアデータブック」(中日新

ます。

句のポサメモ

あなたの心に季節の窓を。 旬の話題と暮らし方のヒントをお届けします。

vol. 41 とうがうし



秋から冬へ。だんだん寒くなってきました。こんな時期にはビビンバやキムチ鍋など、唐辛子の入った料理がほしくなるのは私だけでしょうか。唐辛子のカプサイシンは食欲増進効果や脂肪燃焼効果の他、体温上昇も促してくれるので、食べると体の内側からポカポカしてきます。また、体の抵抗力を高め、カゼなどの予防にも効くことがわかっています。市販の9割以上は輸入ものですが、京都や福岡など、国内でも栽培されていて、通信販売や百貨店などで購入できます。和洋中、いろんな料理で唐辛子を味わいながら、今年の冬は元気に乗り切りたいものです。 (ニュースレター編集部/田麦 誠)



ミーティングカレンダー

●いずれも京都事務所で行います。ぜひご参加ください。

4日(火) ニュースレター編集部 午後7:00から

7日(金) 電子かわら版チーム 午後7:00から

18日(火) ニュースレター編集部 校正日 午前10:30から

~子どもたちに残したい理想のまち~

奈良県生駒市・環境基本計画策定の様子 no.4

→ のコーナーでは、環境市民がコーディネートする奈良県生駒市の環境基本計画の策定の様子を、 同計画の策定委員であり、環境市民の会員でもある樽井雅美さんがレポートします。

※ no.1 は 2007 年 10 月号、no.2 は 2007 年 12 月号、no.3 は 2008 年 4 月号をご覧ください。 活動の進展にあわせて不定期で報告します。

文/環境市民会員 模井 雅美



■プロジェクトを考える

牛駒市環境基本計画策定委員会では一年を過ぎた頃から、自 然環境、せいかつ環境、まち・みち環境、エネルギー環境と四 つの部会に分かれ、半年程かけて部会ごとにプロジェクトを形 にしていく作業を行いました。最初の段階では、メンバー全員 が頭に思い浮かんだ企画をとにかく紙に書き出すという作業か らスタートしました。この「企画書を書く」という作業がやっ てみると本当に難しい。これまでの議論の中では言葉で話し合 い、個々の思いを共有していました。そのような段階のときは 考えているニュアンスや企画の広がりや夢のような部分までな んとなく伝え合うことができるのですが、いざそれを「文字」 にするとなると、「この書き方では伝わらない」とか、「この 表現では誤解を招くのでは?」とか「この二つの企画書は一つ にできるんじゃないか」など問題点がどんどん出てきました。 そのたびに企画書を囲み、みんなで何度も何度も話し合い、企 画をブラッシュアップさせていきました。自分たちが考えてい ることを万人に誤解なくわかりやすく「文字」で伝えるという ことの難しさを感じました。

■中間案発表

委員会がスタートしてから一年半……四つの部会それぞれが議論の末作り上げてきたプロジェクトを、実際に市民の方々に聞いていただく中間案発表会を市内3か所で行うことになりました。

この中間案発表は、これまで策定委員が考えてきたプロジェクトに対して多くの方々の意見を聞かせてもらい、プロジェクトをよりよくすることを目的としています。それぞれの部会では、市民の方々に自分たちが考えてきたプロジェクトをどのように伝えたらいいかという、「プレゼンテーションの方法」について議論を重ねました。多くの部会がプロジェクトを寸劇仕立てにして、楽しく分かりやすく伝えるという方法を選択しました。部会の中では、シナリオ係、ナレーター、プレゼンテーションデーター係、配役と役割分担を決め、プレゼンテーションの練習をしました。中間発表の直前には、夜遅く市役所の会議室に集まり、何度も劇の練習をしました。それに加えて中間発表という「イベント」をみんなの力でやり遂げるためにはたくさんの仕事がありました。資料作成班、会場設営班、広報班。中間案発表当日までは「あれもできていない」「これもできていない」とあせりと不安の気持ちでいっぱいでした。

中間案発表当日、朝から準備のために集まり、大きな会場でのリハーサルがはじまると、みんなどんどんテンションが上がっていきました。全員で「がんばるぞー!」「オー!」と掛け声をかけ、本番がスタートしました。本番では部会の発表、意見交換会と何度もリハーサルしたことが活かされ、無事終えることができました。

■生駒市環境基本計画策定委員会学校

中間案発表会というイベントを自分たちの手で作り上げていく中、本当にいろんなことを感じました。部会ごとの発表の練習はまるで学生時代の文化祭状態でした。みんな必死で劇の練習をしたり、衣装や舞台の小道具を作ったり……一つの目的に向かってみんなが一生懸命取り組むことの楽しさを感じました。会議を

重ねているだけでは分からなかったメンバーそれぞれの得意分野や人間性を知ることができました。そして、何よりも強く感じたことは、中間案発表会の本当の目的は「市民の方々から多くの意見をいただく」ということの他にもう一つあったんだということ。委員みんなが中間案発表会という「課題」をこなすために、「チームになり、実行していく」ということ。中間案発表は一丸となって一つの



プロジェクトを動かしていくための練習 課題だったんだと思います。 私たちは、「生駒市環境基本計画策定

委員会」という学校に入学し、一年半かけているんな課題をこなしてきました。そして、あと半年かけて「生駒市環境基本計画」という卒業制作を作り上げていきます。今回の中間案発表会の経験は、卒業後、私たちが作り上げた「生駒市環境基本計画」を「チームになり、行動していく」段階で大きく役立つに違いないと感じています。

● 中間案発表会って何?

「環境基本計画」の策定プロセスの中で、広く、住民と策定委員が意見交換する場が中間案発表会です。生駒市の場合は、3回行われ、約150人の市民が参加。すべてに市長が参加し、最後は策定委員の懇親会にも参加される、という盛り上がりをみせました。

●どんなプロジェクトがあるの?

遊休農地を活用するプロジェクトや菜の花畑を育て、菜種油をつくり、 廃食油を回収して生駒市内で循環されるプロジェクト、自転車の愛用者を 増やすプロジェクト、雨水利用を広げるプロジェクトなど全部で18のプ ロジェクトがあります。

編集部も行きました! △

策定委員さんのみなさんの「生駒をいいまちにしていくんだ! そのためにこんなプロジェクトをやるので参加してほしい」そんな熱い想いがビシビシ伝わってきました。市長自ら寸劇に参加しプロジェクトを紹介する様子にもびっくり。後半の意見交換会では、当日来た人がすでに、生駒の現状を熱心に語っていて、早くも一メンバーになっているようでした。自治体職員も、策定委員(市民)も、やりとりをみているだけでは誰がどの立場の方かわからないほど「生駒市民」として対等に取り組んでいる様子が印象的でした。これが「住民主体の環境基本計画づくりなんだ!」しみじみ感じた発表会でした。(文/有川 真理子)





阪急電鉄の「エコトレイン 未来のゆめ・まち号」に、 環境市民が企画監修で協働

■「エコトレイン 未来のゆめ・まち号」が 12 月から運行

阪急電鉄、阪神電車などを中核とする阪急阪神ホールディングスグループが、「未来へつなぐ地域環境づくりと次世代の育成」に取り組む「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」を始動します。

このプロジェクトは、1世紀もの間、阪急阪神沿線を中心とした地域社会に育まれ、信頼関係を築いてきたことへの感謝として、グループの社会貢献活動を推進していく取り組みです。プロジェクトの本格的始動は2009年4月ですが、先行して、環境や社会貢献をテーマにしたメッセージ列車「エコトレイン未来のゆめ・まち号」が、2008年12月1日から阪急電鉄で運行されます。

■エコトレインと環境市民の関わり

「エコトレイン 未来のゆめ・まち号」は、先頭車両の外装デザインとともに車内のポスター類も、環境の大切さを発信した内容となります。このエコトレインの企画監修を環境市民が担当しています。掲示内容は、2か月ごとに更新され、国内外の自然の素晴らしさや地球温暖化の現状、沿線の企業・自治体・市民団体の環境活動や社会貢献活動、エコクイズや身近にできる取り組みなどを紹介していきます。各地のNPOや環境市民代表理事の杦本育生が、世界中で撮った写真も掲示されます。

電車をはじめとした公共交通そのものがエコロジーな乗り物ですが、そのことをわかりやすく紹介し、「移動に公共交通を使う」という身近な行動から、地球温暖化防止への貢献ができることをメッセージとして発信する全身エコな電車となります。洞爺湖サミットから1年を迎える2009年7月までの8か月間、京都線、神戸線、宝塚線に、それぞれ8両1編成ずつ運行されます。

■企業や自治体の活動とネットワーク

環境メッセージ列車といえば、環境市民は 1996 年から 8年間、京都市左京区内を走る叡山電車の「エコモーション号」の運行に企画協力した実績があります。「エコモーション号」でも、車内掲示で沿線の自然の素晴らしさや市民団体の活動を紹介しましたが、「エコトレイン 未来のゆめ・まち号」は、沿線の企業や自治体の協力を得ることができ、取り組みが面

のように広がっています。それだけ企業や自治体の環境や社会責任活動が、この 12 年で大きく進展したことのあらわれと言えるでしょう。

また、車内掲示には環境市民と協働関係にある「日本の環境首都コンテスト全国ネットワーク」、「グリーン購入ネットワーク(全国および京都)」や、様々な活動で協力関係を築いてきたNPO、企業、自治体も参加してくれることになっていて、私たち環境市民の活動も12年前と比べて、大きく広がってきたと言えるでしょう。

■この取り組みの意義

この取り組みには大きな意義があります。まずは、環境キャンペーン活動としての意義。電車という多くの人が日常的に利用する場を通じて、環境の現状や様々な団体の取り組みと成果、身近な取り組みなどを紹介することで、これまで環境問題に特に関心のなかった人にも、メッセージが伝わることがあげられます。公共交通のエコロジーさをあらためて認識してもらうこともできます。単発のチラシやポスターの掲示と違い、8か月も掲示されるため、段階的・体系的に多くのメッセージを伝えることができます。そして、環境市民のミッションのひとつである「経済をグリーン化する」の具体化である企業の社会的責任(CSR)活動の応援と推進という意義。企業のCSR活動への環境NGOの支援・協働の先進例として、今後、各地に同様の活動が広がることも期待できます。

鉄道という地域の人やモノを結ぶ媒体が、沿線の様々な団体の取り組みや住民の思いをつむぎ、新たな文化を生み出していく、そんなことも予感させられる取り組みです。「未来のゆめ・まち号」に乗って、ぜひ、車内外に込められたメッセージにご注目ください。

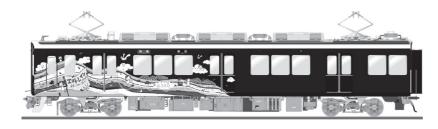
未来のゆめ・まちプロジェクトの全体については、以下を参 照してください。

http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/index.html

「エコトレイン 未来のゆめ・まち号」については、阪急電鉄のプレスリリース記事をご覧ください。

http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp/ir/data/ER200809164N1.pdf

(文/事務局長 堀孝弘)









イラスト提供 阪急電鉄株式会社

地球のなかま

悠久の歴史をもつ巨大な湖、琵琶湖。 それゆえに、独自の進化をもつ生き物を育んできました。 これから、3回にわたって琵琶湖固有種を取り上げていきます。

琵琶湖固有種1回目

●ビワマスが川を遡る季節

第31 回 ビワマス

ニュースレター編集部 千葉 有紀子

10月1日から11月30日までは、資源保護のた といいますが、今は数が減ってきています えています。魚をつかまえてはいけないのは とに透明な糸が張られていて、鳥が魚をとり をみつめています。目の前で、トビが水面近 では、目をらんらんと輝かせてコサギが水面 めに、ビワマスを獲ることは禁止されていま は川が溢れるくらいにビワマスが遡ってきた 郷の川に産卵のために帰ってくるのです。昔 はこの間をかいくぐって、うまく魚をつかま にくくしてあります。それでも慣れている鳥 言います。川には水面近くに、数メートルご しました。「新人のトビやな」と地元の人が くで羽をなにかにひっかけてくるっと一回 んやりと涼しい。そんな季節、知内川の川辺 きています。紅葉はまだまだ、日中は日 しも強く汗ばむほど暑くても、夕方からはひ 人間も同じ。 この時期、多くのビワマスが琵琶湖から故 10月中旬、 滋賀県にも少しずつ秋が訪れて

●故郷に帰れないビワマス

ワマスとは、どんな魚なのでしょう。

を、いきなり狂わせてしまうほどおいしいビ きました。まだ若鳥だったトビの鳥生(?) れたようで、動物保護センターに運ばれてい

は、人間も鳥も同じ。くだんのトビは羽が折 です。それくらいおいしい魚に魅せられるの ますが、それでも、密漁が後を絶たないそう す。もちろん、人にも厳しい罰則が待ってい

り着くと深部を主な住処とし、2~5年コア 5~6月頃、体長7センチほどになった稚魚 流域で孵化し、昆虫などを食べて成長します 一やヨコエビ類などを食べて回遊しながら大 ビワマスは琵琶湖に流れ込む川の上流~下 琵琶湖に下っていきます。琵琶湖にたど

ビワマスの印。右か左かで、高島育ちか醒ヶ で卵を取り出し、精子を振りかけて受精させ らんでいます。産卵前に捕獲し、人間の手 が近づくと出てくる婚姻色で、お腹は卵で膨 からないということがわかりました。その反 いがわからなくなって自分の帰るべき川がわ たところ、井戸水で育てていたので、川の臭 に行ってしまうビワマスが増え、原因を調べ 期、故郷である川に帰って来ずにいろんな川 井育ちかわかるようになっています。ある時 ています。ヒレが切ってあるのは、放流した 孵化させてある程度大きくしてから放流し 省を踏まえ、今は川の水で育てているという 無事に遡ってくるようになりました。

●鮭と皐月鱒と天魚と琵琶崎

魚の稚魚などもいて、より餌は豊富です。そ と下ります。川は下流に行くほど餌が豊富に るものがアマゴと呼ばれています。餌をた 固有亜種です。このような淡水性のサケの仲 なり、海は動物プランクトンをはじめ、他の 食べられないために成長の遅れたものが海へ ゴは海や湖に下るものがサツキマス、川に残 間には、他にヤマメやアマゴがいます。アマ 産卵のときに故郷の川に戻るという習性。ビ ます。生涯の多くの時期を琵琶湖で暮らし くさん食べて早く成長したものは川に留まり ビワマスは大きなものでは50センチを超え マスは琵琶湖だけに自然分布するサケ科の サツキマスはアマゴの数倍もの大き

水量が増すと大量に遡ってくることから、こ きくなります。産卵の時期になると、故郷の 産卵を終えるとその一生を終えます。 三へ大挙して遡ってきます。雨が降って川の 頃にはアメノウオとも呼ばれます。そして、

ピンク色の斑紋があります。この色は産卵期 会うことができました。体には黒地に美しい 滋賀県漁業共同組合で、ビワマスのメスに

> ています。 う人間の勝手な行為が自然界をややこしくし りの川にもいるようになったのです。こうい 岐阜県産のアマゴも放流により、琵琶湖の周 もアマゴ(雨魚)と呼んでいます。ところが、 かないそうです。滋賀県ではビワマスの稚魚 もいて、それは、アマゴとほとんど区別がつ しょうか。中には琵琶湖に下らないビワマス 着き、多くがそこで暮らす道を選んだので 下流へ下流へと下るうちに琵琶湖へとたどり さになります。ビワマスも豊富な餌を求めて

ということもあります。環境の変化の前 の川にたどり着く前に、命を落としてしまっ 少なかったりすると、川の水も少なくなって えが返ってくるこの魚。川魚独特の臭みもな 変化を余儀なくされる日がくるのでしょう 何十万年と培ってきた彼らの生活スタイルも たり、中には途中で川が途切れてしまったり 冬に雪が少なかったり、そのあとも雨の量が ロッと口の中で溶けていく独特の食感だとか と、滋賀県民曰く「サケよりおいしい」そう よし、煮てよし、ムニエルよし、焼魚もよし く、脂がのっていておいしく、刺し身にして ねると、必ず何人かは、ビワマス!という答 の人に、一番おいしい魚はどれですか?と尋 けて沖合で刺網により漁獲されます。滋賀県 しまい、ビワマスが遡れなくなったり、故郷 きさ、底力を感じてしまいます。ここ何年か です。中でも、刺し身にすると、トロット 大きなビワマスのその姿には、琵琶湖の大 大きく成長したビワマスは、春から夏に

淳史著 平凡社 ○参考文献…… 協力
一
今森光彦、速水祐一、琵琶湖博物館 『ジュニア写真動物記9 サケ』桜井

次回は琵琶湖固有種2回目「ニゴロブナ」です。

山々が見渡せる めとして、夏でも雪をいただくいくつもの ガー、メンヒ、ユングフラウの三山をはじ の道は始まる。アルメントフーベルからは ルメントフーベルという小高い丘から、こ る小さなケーブルカーで登ること数分、ア 道はある。標高1600メートルの村にあ さな村ミューレン。そのミューレンにこの 答えるであろう。スイスアルプスにある小 ろな山と道を思い浮かべたあと、この道を 好きか」と尋ねられたら、しばらくいろい スイスの北部アルプス地方を代表するアイ **〜** まで歩いてきたハイキング、 トレッキング道でどこが一番

ラウを見渡すことができるので、この名称 のほとんどでアイガー、メンヒ、ユングフ 年の地図には「マウント・ビュー・トレイ なっているだけであった。しかし2008 ル」と名前が記されていた。確かにコース つくったハイキング地図ではナンバー6と ハイキング道は、以前にミューレン村が

いる人に出会うくらいの方が、やはり自然 かし、この道のように時々ハイキングして ても自然を十分に楽しむことはできる。し が多い。アルプスの雄大さゆえに人が多く あろう。また、この道はそんなに多くの アルプスの花図鑑がほしくなってしまうで われる。それはほとんど最後まで続く。6 スで人気のあるハイキングコースは歩く人 月下旬から7月、この道を歩けばだれでも い。コースの最初から道の左右は花におお 人々と出会うことはない。この季節、 しかし、この道の魅力はそれだけではな スイ

に浸りきることができる

白い氷河と雪渓に彩られたアイガー、メン 越しに、灰色に少し茶色のかかった山肌と の両側の斜面は様々な花、花、花。その花 た上りとなる道幅は80センチくらいか、道 道は、最初は下り、すぐにゆっくりとし ユングフラウが紺碧の空をバックに見 える。素直に



花とユングフラウ、 言葉が出てし

美しいという

色い花々、日 まう。道はや 本のミヤマキ む。初めは黄 真ん中をすす がった斜面の がてゆるく広

白い花の道 だが花に光沢 ポウゲの種類 **、同じくキン ス・アクリス 間ラヌンクル ンポウゲの仲

タヌス*、それ クルス・モン のあるラヌン に少し大きな

科のものも混ざる。 ス*や小さな花をたくさんつけているセリ の高いラヌンクルス・アコニティフォリオ なる。花はハクサンイチゲが主だが少し背 の黄色の花の世界が一変、白い花の世界と ロールブリューメなどが混ざる。そしてこ 花だが花びらがあまり開かず球状になるト

> 色を創り出すのであろう。いやこのような を引いたようだ。その理由は、土にあるの 赤の花が見える。自然は多様だ。 なぜであろう。よくみると、黄色の花の中 風景をほとんどの人が美しいと感じるのは はやはり青空と高山。自然は何と美しい景 のような草に覆われた緑。そしてバックに か……というようなことは、この際考えず にも白や紫の花、白色の花の中にも黄、 に花を楽しむ。その花の間を通る道は芝牛 黄色から白色、この変化はくっきりと線 青

かべてみた。 は赤いっぱいになったときの風景を思い浮 る花だと言われている。最盛期、この斜面 はツツジの仲間でスイスアルプスを代表す の青と葉の緑に映える。アルペーンローゼ まだ花の最盛期ではないが、紅色の花が空 斜面一面にアルペーンローゼが現れた。

き交うハイカーとは「ハロー」「モルゲ ならでは、様々な言葉で挨拶するのがごく ン」「ボンジュール」と多言語国家スイス 「アメイジング!」と声をかけてきた。行 逆方向から歩いてきた一人のハイカーが

> はなかろうか も知らない。また名乗りあうこともない をする。どこの国のなんと言う名前の人か ク」と返すと、彼はにっこりとして少し話 いている私を見かけて「アメイジング!」 かと共有したかったのであろう。一人で歩 当たり前。しかし単独行の彼は、感動を誰 め合うことができれば、この世界をまとも しかし共有する感動がある。この気持ちを なものに変えることも不可能ではないので 人々が大切にできれば、そして多様性を認 私も一秒ほど考えて「ファンタスティッ

たときは、もっと時間をかけて歩こう が、名残が尽きない。次に来ることができ 半の道のりを3時間あまりかけて楽しんだ グ道はまもなくゴール。早く歩けば1時間 て、森の中に入りくだり道、このハイキン てきた冷たい風が交じり合う。背を伸ばし 照らされて火照っていた肌に気持ちがい れた。手で水をすくい顔を洗う。 い。陽光で暖められ空気に谷筋を吹き上げ て少し遠くを見ればアルプスの山々。やが 水音が聞こえ、やがて小さな沢があらわ

この連載の奇数回では、世界や日本の豊かな自然を描き

※印は学名です。和名は不詳です

世界で一番好きな山の道

文/環境市民代表理事 枚本 育生

青き星

連載



みどりのかわらばん 読者×読者、読者×環境市民をつなぐコー ご意見・ご感想など、お待ちしています。

編集/ニュースレター編集部 風岡 宗人

読者×読者、読者×環境市民をつなぐコーナーです。



みどりの特派員便り

衛 全国で活躍する環境市民の会員さんが、「みどりの特派員」として地域の活動や思いを紹介します。 この記事がきっかけとなり、新たな環境市民ネットワークの創出ができればいいな。

高御堂 厚さん (柿の木山 代表/京都府南丹市美山町) 一田舎の暮らしと自然の体験プログラム企画・運営一

私の暮らす美山町は、120~140年ほ づいていること、「見えないもの」を大切に ど前に建てられた茅葺き民家が多く残存し、 江戸時代末期の記憶が見え隠れする人々が 生活しています。この頃、世界に誇るリサ イクル社会が形成されていた時代、着物や ハギレ、薪の灰や糞尿にいたるまで節約と 支配しようとする宗教観・道徳観は日本人 にはありませんでした。山の神様、水の神 様、物に宿る神々即ち八百万の神に畏敬の 念を抱き感謝する気持ちが生活の根底に息

し、自然と切り離した世界では生きること ができないこと、お互いが助け合わなけれ ば牛きることができないことを、身をもって 知っていることは、「科学や金が万能であり 得ない」という謙虚な心を育み、科学技術 リサイクルがバランスよく庶民の生活の中と共存してゆける21世紀の豊かな社会の に根付いていました。また、自然を征服し 創造につながります。このような生活文化 は、現代の日本人が学ぶべき日本の良さで はないかと思います。美山では、人と人(地 域社会)、人と自然の様々なつながりが見 えてきます。環境学習プログラム、修学旅

行 (環境学習旅行)、 田舎の子どもになあ れ(おひさま子ども 倶楽部)、食育、わ らじを編んで森を歩



ホオノキの葉でお面づくり く、四季折々の行事 (秋のおひさまこども倶楽部のひとコマ)

(天道花、お月見、餅花作り) など、ここ での体験の根本に「つながり」というキー ワードは欠かせません。

柿の木山 〒601-0701 京都府南丹市美山町江和 TEL: 0771-77-0174

Email: waraii@cans.zag.ne.ip

URL http://www.cans.zaq.ne.jp/kakinokiyama/

(((インフォ@エコ

🍓 環境に関するオススメの本、映画、音楽などをご紹介します。

(オススナ!)

『教育立国フィンランド流 教師の育て方』

増田 ユリア 著 2008年7月岩波書店(1.600円+税)



1990年代、「教育大国」 と呼ばれる北欧の国フィン ともに失業率が 20% に達す るなど、深刻な不況に陥っ た。そんな中でこの国は「人」 に着目し、教育改革に取り 組んだ。中でも重視したの が教員の質。教員資格の取 得には大学院修士課程の修

了が必要で、教育実習の期間も「できるようにな るまで」という厳しいもの。いろいろな社会経験 を経て教員になる例も多く、子どもが自ら関心を 広げ深める調べ学習をサポートする専門性と力量 が求められる。フィンランドのナショナル・コア・

カリキュラム(日本で言う学習指導要領)では大 枠を定めるにとどめ、具体的な実践を自治体や教 ランドでは、ソ連の崩壊と 師に任せている。筆者曰く、「フィンランドでは社 会のデザインと教育プランが見事なほどに一致し ていて、教師たちにもブレがない。どういう子ど もを育てたいか、どんな社会をつくりたいか、そ のための教育はどうあるべきか、ということが国 レベルから現場レベルまで一貫している」。理想の 将来を描きながら人を育てまちをつくる。そんな 当たり前のことが当たり前に行われていることに 感心する反面、日本はどうなのか。「何でできない のか? やればいいだけじゃないのか」。本書に登 場する校長先生の言葉が心に響く。

(ニュースレター編集部/風岡宗人)

●みどりのわ● つながる・ ひろげる

「エコ」が叫ばれて久しいけれど、時には話題に してうとまれて、傷つくこともありました。だから、 「エコ地蔵盆」の呼びかけと実践には驚嘆です。今年 もまた地蔵盆の景品に、合成洗剤などもあって……。 仲間が大切、孤軍奮闘は時代遅れなんですね。

特集記事の「エネルギーも地産地消」。そして実践例。

衛 ニュースレターモニター、また読者の方からのご意見を ご紹介します。

グローバル化のエゴに抗する動きに勇気づけられま す。一人でなく、みんなで。少しずつ実践しようと 思いました。

ひとつ希望。文字も絵も小さく見づらい。目にも やさしい記事だといいなと思います。

(見神 誠子さん / 京都府宇治市在住)



新会員の方々・寄付 9月11日から10月11日

寄付 新会員

梅村 千恵子 松岡 秀紀 大塚 郁子 真鍋 允士 高村 しおり

伊藤 益義 長崎 大樹 長崎 純一 堀 孝弘 長崎 悠歩 山本 美菜

(五十音順敬称略) ありがとう ございました!

新入会員インタビュー:

梅村 千恵子 (うめむら・ちえこ) さん/(大阪府) 9月13日入会

「エコ地蔵盆」に参加したことがきっかけで入会しました。環 境市民の身近な視点から環境問題を考えるという姿勢に共感し ています。



(ご意見・ご感想宛先)

●メール・FAX・郵送でお送りください 【E-mail】newsletter@kankyoshimin.org 【FAX】075-211-3531 【郵 送】〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル 呉波ビル3階 NPO法人環境市民 みどりのニュースレター編集部 宛



環境市民

かんきょうしみんぶんのいち

★環境市民の会員を紹介します

no.41

大熊 秀治 さん

奈良県の大学院で情報技術を学ぶ。環境市民のウェブサイトを企画運営する電子かわら版チームで、ボランティアスタッフとして活躍。無理のないエコ生活を実践している。今後はこれまで学んできた情報技術をさらに活かし、幅広く環境問題に取り組んでいく。

「エコバッグを買うという考え方ではなく、いま持っているものを使ったらいいのに

大熊さんが学んでいる大学院の学食で お会いすることになった。 にこやかな笑顔 で現れた大熊さんに、大学院での研究内 容をうかがった。

大学院では情報技術を応用した自然言語処理を研究している。普段私たちが何気なく話している言葉。子どもの頃から言葉の文法の「しくみ」に興味があったそうだ。その「しくみ」を、コンピューターを使って解く研究をしている。パソコンを使うことが増えた昨今、この自然言語処理の研究成果はインターネットの検索機能などに役立っている。自らを「はまると没頭するタイプ」と大熊さん。冷静でまっすぐな性格は子どもの頃からのようだ。

大学卒業後、奈良県にある大学院に進学した。環境問題は以前から興味があったものの、自分に引き寄せて考えられなかった。「でも何かしなければいけないという思いは常にあった」。自分が環境問題に関わるなら、情報技術の分野で貢献したい。その思いが原動力となり、環境市民がインターネットで環境問題に関する情報を提供しているのを知り、すぐにメールを送った。昨年の8月頃のことだ。それをきっかけに環境市民のウェブサイトを運営している電子かわら版チームでのボランティアがはじまった。

目立たないところでも、 お力を貸してくださった

方々に、感謝をこめて―。

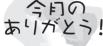


「最初はリサイクルやリユース、リデュースの優先順位がよくわからなかった。知らないことだらけだったし、自分の生活のなかで何をしたらいいのかわからなかった」。最初の頃はボランティアスタッフが集まるミーティングでもなかなか発言ができなかったそうだ。環境問題に関する本を読み、ミーティングの際のささいな雑談からも知識を深めていった。「ミーティングが楽しい。ミーティングの内容には直接関係ない会話からへえー!という新しい気づきがあるから」。今、実践していることは高校時代から愛用しているリュックサックをエコバッグとしてもつこと、できる限り地産地消の商品を選ぶことなど。「自分に

とってそのほうが自然だから、どれも我慢しているわけではない」「人間にとってやさしいことは、環境にとってもやさしいのかな」。無理のない、おだやかな生活ぶりがうかがい知れる。環境市民のウェブサイトでは、エコライフの取り組み状況をたずねる「エコ投票」を行っている。ブログを見ながら簡単に投票できるしくみをつくっている最中だという。わざわざエコ投票のページを開かなくても、ブログの横に投票できるという利点がある。今後は環境市民のウェブサイト上で利用者が互いに交流できるような「しくみ」をつくってみたい。

卒業後はメーカーに勤めることが決まっている。自分が学んできた情報処理技術を活かし、環境負荷の少ない製品開発をすることが目標。もちろん、電子かわら版チームの活動は続けたい。環境市民に対しては「NPOの得意分野である情報発信に期待する」。大量の情報に流されがちな今日、いかにして鮮度の高い情報を発信し続け、読む人の行動につなげることができるか。環境市民での活動を含めて、大熊さんの今後の活躍を期待したい。

(インタビュー・写真/土屋 瑠里子)



【ニュースレターの発送】 山邉 浩立/吉田 文子

【その他】 角出 貴彦

(五十音順敬称略)

編集部(五十音順)

有川 真理子乾 孝史風岡 宗人久保 友美駒 ゆき香角出 貴彦田麦 誠千葉 有紀子土屋 瑠里子内藤 一樹東 広之藤岡 洋貴

安江 晃子

下司 智子(デザイン・レイアウト)

編集後記

環境市民にボランティアとして関わるようになって2か月、これまでは読む側だったニュースレターでしたが、今回初めて書く側を担当しました。刺激的なお話を、刺激はそのままに、言葉と言葉の間に込められた発言者の思いを補いながら文章にするのは大変な作業ですが、執筆の作業を通してその思いをより深いレベルで感じることができるのは、本当に貴重な経験です。

(ニュースレター編集部 内藤 一樹)

エコライフ、エコ活動をやっている方、これからやろうとしている方、必見

環境問題の「もうちょっと知りたい」に 応えるハンドブック





環境情報が氾濫してる今、問題の本質を見極めたい方にぴったりです。

1 地球温暖化って、人間の活動がもたらしたものではないという 〈内容〉 説もあるけれど、ほんとなの?

- 2 世界で水不足や砂漠化が進んでも、日本とは関係がない?
- 3 原発は、地球温暖化防止の切り札なの?
- 4 これ以上、エネルギーの削減はできないの?
- 5 自然エネルギーって、まだまだおもちゃのようなものでしょ?
- 6 ごみやエネルギーの削減は経済活動のマイナス?
- 7 リユースつて、ほんとに環境によいの?
- 8 ペットボトルはリサイクルするより、燃やした方がいいの?
- 9 再生紙より純パルプの方がエコロジーって、ほんと?
- 10 日本って、環境先進国なの?

サイズ A5 版 /94 ページ

価格

□環境市民会員の場合

1部:500円(送料別途80円)

□非会員の場合 -

- ・送料込み(税込み)
- 1部:710円 2部:1,340円 3部:2,000円
- ・送料なしの価格 (税込み)

1部:630円

申込みお名前、ご住所、電話番号、メールアドレス を明記の上、電話か FAX、メールでお申し込みくだ さい。振込は銀行口座か郵便局になります。

環境市民に入会しよう!

環境市民は、多くのボランティアと会員の皆さんの参加によって支えられています。 「持続可能で豊かな社会づくり」のために、ぜひ会員になって環境市民の活動を応援してください!

■ 会員特典

□月刊会報誌「みどりのニュースレター」をお届けいたします。

□行事などの参加費を割引させていただきます。

□会員専用ブログ「ボランティア広場」への参加ができます。

□環境に関する様々な情報を得たり、また質問や相談ができます。

■ 会費の振込み方法

(1) 郵便振替振込用紙に、住所・氏名・電話番号・会員の種類・ 送金内容事項をご記入の上、「年会費+入会金」をご入金ください。 (※シニア・学牛・助成・特別助成会員は入会金不要)

(2) ご入金を確認後、最新のニュースレターと会員バッジ、入会記念と してポストカードをお届けします。

会費

種別	年会費	入会金
個人会員	4,000円	1,000円
ペア会員	6,000円	2,000円
シニア・学生会員	3,000円	·····
ファミリー会員	8,000円	2,000円
助成会員	10,000円	
特別助成会員	50,000円	_
終身会員	一括 80,000 円	
営利法人会員*	1口 50,000 円	50,000円
非営利法人会員*	1口10,000円	2,000円

*年会費は一口以上

~あなたのご支援が環境市民を支えます~

➡ 寄付をする・・・ 住所・氏名・電話番号・寄付金額をご明記の上、下記の振込先へお振り込みください。

会費・寄付のお振込み先 【郵便振替】口座番号:01020-7-76578 加入者名:環境市民

(発行) **特定非営利活動法人 環境市民** (代表) 杦本 育生 (発行人) 堀 孝弘 【TEL】 075-211-3521【IP 電話】 050-3581-7492【FAX】 075-211-3531

[E-mail] life@kankyoshimin.org [URL] http://www.kankyoshimin.org

〒 604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル呉波ビル 3 階 (月から金 午前 10:00 から午後 6:00)

環境市民 東海事務所

【TEL&FAX】 052-521-0095 【IP 電話】 050-3604-6182

[E-mail] tokai@kankyoshimin.org [URL] http://www.kankyoshimin.org /tokai/ 〒 451-0062 名古屋市西区花の木 1-12-12 AOI ビル 4 階

環境市民 滋賀事務所

[TEL] 077-522-5837 [E-mail] cefshiga@kankyoshimin.org 〒 520-0046 大津市長等 2 丁目 9-12 竺 文彦気付

> この印刷物は風力発電による自然エネルギー を使用して大豆油インキで印刷しました。

本誌の無断複写・複製・転載を 禁じます。

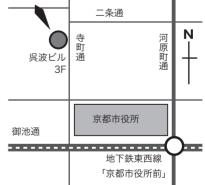
「環境市民」登録商標 第4809505号

印刷: (有) 糺書房

本誌はメーカー側が古紙100%とする 紙を使っていますが信頼性の確認がと れていないため、古紙配合率100%を 示すR100マークははずしています。







Citizens Environmental Foundation 21世紀

地球を、地域を、生活を、 持続可能な豊かさに

